

公表

事業所における自己評価結果

事業所名								公表日 2026年2月24日
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				・それぞれの場面で職員が適切な対応をしていると思う。 ・各部屋に職員がいられるように各自意識して動いている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	1		・配慮の必要な子には、子どもの好きなキャラクターを用いてわかりやすく表示する工夫をしている。 ・玄関は自動施錠に変更。 ・子どもの目線の高さに合わせた家具の設置。	・完全バリアフリーにはなっていない。(玄関前の階段) ・防犯カメラや窓ガラスフィルムの設置希望。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				・日々の清掃。 ・「静」の場所と「動」の場所で空間を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				・クールダウンが必要な時は静かな個室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			2	・朝のミーティングや、利用者の帰宅後に話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			2	・職員面談や、都度の報告を受け、適切に改善につなげている。 ・朝夕のミーティングで報告の機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			4	4		・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			1	・定期的に外部研修に参加している。 ・事業所内研修	・研修の全員参加が難しい。(勤務日時の違いにより)
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			1	・朝夕のミーティングで報告や情報共有をよく行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		1	2	・子ども達のその時の状況を踏まえて話し合い、報告を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			1	・個々に合ったプログラムを立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8				・始業時にミーティングを行い、情報を共有している。 ・その日の利用者の支援予定を話し合っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6		1	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		1		・サービス提供記録を細かく記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			2	・4つの基本活動を体験的にを行い、自己の肯定感の向上につなげ、子ども達の経験を増やし、生きていく力を育てることを目標としている。（自立支援や創作活動、余暇の提供、地域交流など）	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			1	・遊具や支援ツールを複数用意し、子どもが主体的に選べるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			1	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		1		・地域との連携はまだまだに感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			1	・学校との情報共有はできていると思う。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	1	2	・担当相談員から就学前の情報を聞き取るなどの連携をしている。	・保育園、児童発達支援との連携はできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	2	1		・対象者なし（R7.3月卒業者は障害福祉サービス事業所の利用なし）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		2	・助言を受ける機会はないが、センター主催の研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		1	・長期休みや早下校の時に公園や大型遊具施設に出かけ、他のデイや地元の子ども達との交流を図っている。 ・地域の人への挨拶は積極的にやっている。	・学童との交流はあまりない。 ・遊具のある公園や施設に出かけた際に交流があることも。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			2	・定期的に協議会に参加し、職員研修の向上に努めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	1	2	・県の発達障害者支援センター主催のプログラムや研修の告知を保護者に行っている。	・家族に対する研修があったらよい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			1	・児童発達支援管理責任者がとても頑張っている。 ・困り事、相談事がある時はすぐに対応できるように時間や面談の調整をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6			2		・2025年度に懇談会を実施した。2026年度の開催検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			2		・SNSへの発信（Instagram）を増やしたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				・写真や情報の管理を行っている。 ・個人名がある書類・メモはシュレッダーにて削除している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		1			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	2	3		・地域住民の招待は前例なし。地域の行事への参加は行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				・各種マニュアルは策定し、HUGマイページから保護者も見られるようにしている。 ・避難訓練は月1回程度で行っている。毎月、違う曜日で行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8					
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		1	・保護者より服薬や持病の情報を提供いただき、対応している。	・緊急時に対応できるよう、服薬について資料を揃えたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			2	・アレルギーの有無でおやつが入ったカゴを分けて準備している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			1	・事例があった時はミーティングで共有し、記録している。 ・敷地内地図にヒヤリハット位置を書き入れ、掲示している。職員の意見もだが、子ども達にも意見を聞き、子ども目線の意見も取り入れている。	・概ね共有、検討をしているが、100%できているか…？
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			2			